

沖縄のプロバスケットボール



(12月のごあいさつ)

平成21年12月2日(水)

先々週の日曜日は清々しい沖縄の秋日和でした。

その日、宜野湾のコンベンションセンターへバスケットボールを見に行った。琉球ゴールデンキングスと大阪エヴェッサの対戦で、試合開始1時間前に会場へ入った。試合前の練習やキングスダンサーズのダンスや選手紹介など、様々な工夫が凝らされて観客を楽しませようとする雰囲気があった。

また、試合は両チームの首位争いで、特に前日に琉球ゴールデンキングスが敗れているので、約3,000名の観客で満員の会場は熱気にあふれていた。

ベンチのすぐ後ろの席だったこともあり、琉球ゴールデンキングスのヘッドコーチや10名の選手の名前も覚えて、夢中で応援しているうちに初めてのバスケットボールを心から楽しむことができた。

幸い、接戦の中、琉球ゴールデンキングスが82対77で勝利したこともあって、会場は声援も盛り上がり試合後の雰囲気も沖縄的なカチャーシー気分にも包まれていて、知り合いに出会ったりしながら楽しく会場を出た。

初めての沖縄プロバスケットボールの観戦のきっかけは顧問先の(株)アイラーニング(加納代表)が開催した“沖縄を元気にしよう”といった趣旨の30余名の会であった。偶然、隣同士の席になった安永淳一さんが琉球ゴールデンキングスの取締役をされており、大学卒業後アメリカに20年もおられ、NBAの経営でも活躍された方だということを加納代表から紹介され、同じ京都の出身だということもあって、いろいろと話がはずんだ。話の中で、どうして沖縄へ、どうしてバスケットボールで、なぜ沖縄で仕事を、などと他の人達も加えて話がはずんだ。途中で挨拶に指名されて、「安永さんと話したこと(下記の会話)」と「沖縄を元気にするには、仕事や事業は、それ自体のために行って、その結果が沖縄のためになればよい。」というような事を話した。沖縄公庫の新事業育成出資室の委員をしていた時、約30社の出資先の中にバスケットボール会社があったことや知り合いの息子さんがコザ高校のバスケットボール選手であることなども思い出した。

その夜の会話、「バスケットの為に沖縄のバスケットに努力する、成果が上があれば、その後で沖縄の為になる…」という言葉が印象的で、翌朝メールをした。今後、機会を見つけてバスケットボールを見に行くという旨を伝えたところ、今回の試合に誘われ、招待していただいた。

約4年前に始まったbjリーグは、日本初のプロバスケットボールで、まだアメリカのNBAなどにはとても足元にも及ばないような規模とレベルということであるが、地域密着的な雰囲気があり、将来の可能性を感じた。

バスケットボール、特に琉球ゴールデンキングスのバスケットボールは沖縄の地域密着型のスポーツであり、顧客本位的な雰囲気のある事業だと思う。

沖縄は本土と離れた島国であり、本土の他の都市に較べて人口や企業も規模が小さく県土も狭いという弱味がある。しかし反対に他の都市よりも地域的な一体性と熱狂性は強い。地域密着的な活動を支持する独特の感情があり、外向きで国際的交流においても他の都市より優れた特性がある。

琉球ゴールデンキングスはこれらのハンディに挑戦し、逆にその特性を生かして地域密着型の成功例になる可能性がある。沖縄の企業が忘れやすい何かを追及しているところがある。

一般的に言われている青い海、青い空、アジアに囲まれた好位置などは「別にして」である。

沖縄企業の問題は、琉球ゴールデンキングスのように地域密着型の特性を十分に生かせていないことである。沖縄の企業のハンディを克服し、その特性、出来れば地域や沖縄の強味を生かす、企業の可能性を伸ばし、強化することに関して、最も重要な役目を果たすべきは沖縄の地域金融機関であると思う。

bjリーグや琉球ゴールデンキングスが、今までプロバスケットボールというものが存在しなかった日本の土壌の中で、多くの経済的、社会的困難を切り開き、たぶん周囲の冷やかな雰囲気もあったと思われるが、事業に対する可能性を求め、信じ、新しい世界を築こうとしていることは将に企業そのものである。しっかりとした地域の企業にはこのような可能性に挑戦しようとする気概が必ずあり、それを育成することは地域の活性化に最も重要なことである。そのような地域の特性の掘り起こしや事業の支援や育成をリーダーシップを取って行えるのは地域金融機関である。

地域密着型金融（リレーションシップバンキング）が言われてもう7年近くになるが、地域金融機関に求められていることはこのような地域に密着した日々の活動とその事業の本質の問題ではなからうか。本質とは、「他に比類のない資金提供力という強力な機能を地域の視点で自覚し、加えて優れた人材と情報と経験を生かし、地域の中小企業の事業支援ができて、地域の構造改革につながる」頼りになる金融機関である。そしてそれに応えるのは地域の企業の事業力である。金融機関も企業もこれが出来なければ、青い海と青い空とアジアの好位置も無いに等しいと思う。